

## ふるさと野菜のおすそ分け 通信 vol.108 2013年9月05日号

田舎でも暑いには変わりありません。都会の熱風が拭きさらす中にいるよりはまだ良いのかもしれません、今年は特に暑かったようです。夏休みの間、そしてお盆の合間に聞こえるおじいちゃん、おばあちゃんの家に戻って来た子供達の声、久しぶりに何となく賑わいを感じさせてくれました。

暑い中でも子供達は元気な様子を見せてくれていました。虫取りや、水遊び、昔とさほど遊ぶ様子に変わらないことに和まされます。夏休みも終わり、少し華やいだ空気ももう自然界は秋の様子を見せています。ヒグラシの声より夜の秋の虫たちの声の方が耳に残るようになりました。

### 京丹波町長瀬地区



いつまでも変わらぬ田舎の風景は子供達の成長に役立ってくれそうです。大きくなって親になったら子供に遊びを伝える。年を経ても、田舎ならではのできることはまだまだありそうです。

優しいおばあちゃん、おじいちゃんの田舎の家がある子供は幸せだろうなと思えます。長瀬の地区はイベントも目白押し。毎年行われている地元ならではの企画が皆さんの楽しみになっています。ふるさとのない都会の人達が自分達の田舎のように遊びに来れるのは良いことですね。

### 京丹波町西河内地区



西河内の地域のお年寄り達の意気込みを感じさせるこの標語。あちらこちらと結構な数が立ててあり、強い決意みたいなものを感じさせられます。その意志の強さとはまるで別の世界で流れる時間は緩やかに、穏やかに、笑顔一杯の明るい人達が住んでいらっしゃる地域なのです。おだやかな笑顔の数だけ、私達に落ち着いた優しい時間を感じさせてくれます。

## 南丹市・美山町大野地区



先日8月15日の夢灯路です。帰省客の多いこの夜、大野ふれあい会館から伝仁清生家へと歩む仁清通で、京都の東山や嵐山で行われている花灯路の様な灯が繰り広げられます。幻想的なこの風景を見ていると豊かな日本の感性に誇りを感じさせられますね。こんな景色は明るい電灯の下では見ることは出来ないでしょうね。田舎ならではの、日本らしい姿が垣間見られるいいところです。

## 京丹波町高岡地区



この時期稲もたわわに実ってきています。もうすぐしたら黄金色した稲穂が頭をたれて秋の収穫を待っているのでしょうか。取れたタマネギの保存も風景によく馴染んでいます。まだまだ暑いのに自然は着々と秋の用意をし始めているのですね。秋には黒豆が実ってきて美味しい黒豆ご飯が食べられるのが楽しみです。秋の味覚は食欲も増して体重管理は大変ですが、一年の中で一番楽しみになっているのは確かです。





中川静子さんの丹波黒大豆の畑です。毎年行われている百年以上の伝統を有し、勇壮な大松明のもとで無病息災や豊作などを祈願する牧山松明行事を取材している毎日放送VOICEの取材風景です。

8月24日の牧山松明行事を取材後の8月26日以降の18:15からのVOICEで放映される予定です。

中世木地区は高齢化率が50%を超える限界集落といわれており、とりわけ奥地の牧山集落は住民が8人しかいなく、そのうちのお祭りの担い手となる男性は3人で、平均年齢は80歳だそうです。

昨年は中世木地区全体から有志を募って祭を完遂したそうですが、このままでは祭が消滅しかねないといわれているのですがこの長年の伝統行事を絶やしたくないですね。

---

ご参加・ご意見・お問い合わせは下記まで ふるさと野菜のおすそ分け事務局

〒621-0242 京都府亀岡宮前町神前上長野2 (有)篠ファーム内 **購入参加者 9/5 現在 72名**

TEL0771-26-0811 FAX0771-26-0822 e-mail [info@shinofarm.jp](mailto:info@shinofarm.jp)

ふるさと野菜のおすそ分け通信は右記のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shinofarm.jp/furusato.htm>